

日本授業UD学会 UDカレッジ シラバス

国語教育コース

\* ★印の講座を受講できるのは、正会員だけです。

No.	内容	キーワード	概要	達成目標	
1	初級：国語授業UD 概論Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業のUD化モデル</li> <li>・3段階の指導</li> <li>・「論理」</li> <li>・焦点化・視覚化・共有化</li> <li>・教材のしかけ</li> </ul>	物語文と説明文の授業をワークショップ形式で体験することで、国語授業UDのポイントについての具体的な理解を図ります。	国語授業UDの概要を理解し、焦点化・視覚化・共有化などの指導のポイントを説明できる。	
2	初級：国語授業UD 概論Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つまずきの想定</li> <li>・つまずきに応じた支援</li> <li>・系統指導</li> <li>・考える音読</li> </ul>	仮想事例をもとにして、子どものつまずきを想定した上で、国語授業をUD化する方法について解説します。	子どものつまずきを想定して、国語授業UDに関する授業計画を立てることができる。	
3	初級：書くことの指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的な書き方</li> <li>・教材のしかけ</li> <li>・帯単元の日常指導</li> <li>・書くことが苦手な子への指導</li> </ul>	全員の子どもが楽しみながら書く活動をワークショップ形式で紹介し、その指導のポイントを解説します。	全員が書く力をつける指導のポイントについて説明できる。	
4	初級：話すこと・聞くことの指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的な話し方・聞き方</li> <li>・対話</li> <li>・教材のしかけ</li> <li>・帯単元の日常指導</li> <li>・話すことが苦手な子への指導</li> </ul>	全員の子どもが楽しみながら話したり聞いたりする活動を紹介し、その指導のポイントを解説します。	全員が話す・聞く力をつける指導のポイントについて説明できる。	
5	中級：文学（下学年）の指導★	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文学の論理的な読み方（下学年）</li> <li>・文学の発問づくり</li> <li>・読むことが苦手な子への指導</li> </ul>	下学年の文学の授業をワークショップ形式で体験する中で、発問づくりの基本と応用について確認します。	文学の発問づくりの基本と応用について説明できる。	
6	中級：文学（上学年）の指導★	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文学の論理的な読み方（上学年）</li> <li>・心情の変化</li> <li>・主題</li> <li>・単元づくり</li> </ul>	上学年の文学授業をワークショップ形式で体験する中で、心情変化や主題に関する指導について確認します。	心情変化や主題に関する指導のポイントについて説明できる。	
7	中級：説明文（下学年）の指導★	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明文の論理的な読み方（下学年）</li> <li>・説明文の発問づくり</li> <li>・読むことが苦手な子への指導</li> </ul>	下学年の説明文授業をワークショップ形式で体験する中で、発問づくりの基本と応用について確認します。	説明文の発問づくりの基本と応用について説明できる。	
8	中級：説明文（上学年）の指導★	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明文の論理的な読み方（上学年）</li> <li>・要点・要約の指導</li> <li>・単元づくり</li> </ul>	上学年の説明文授業をワークショップ形式で体験する中で、要点・要約の指導について確認します。	要点・要約に関する指導のポイントについて説明できる。	
9	上級：演習「教材研究と模擬授業」①★	2 日 コ ー ス  4 コ マ 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材研究の方法</li> <li>・指導内容</li> <li>・指導方法</li> <li>・授業展開</li> <li>・教材のしかけづくり</li> </ul>	実際に教材研究する中で、教材研究の進め方やポイントを確認します。	教材研究の進め方のポイントを理解した上で、自分自身で教材研究ができる。
10	上級：演習「教材研究と模擬授業」②★		<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導案の書き方（指導の工夫、個別の配慮、特化した配慮）</li> </ul>	授業UDを目指すための学習指導案づくりの作成方法について確認します。	授業UDを目指すための学習指導案を作成できる。
11	上級：演習「教材研究と模擬授業」③★		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材提示のタイミング</li> <li>・子どもの反応への対応</li> <li>・リズムとテンポ</li> </ul>	模擬授業をする中で、実際の授業におけるポイント（子どもの反応への対応、教材提示のタイミングなど）について確認します。	実際の授業におけるポイントを意識しながら、模擬授業ができる。
12	上級：演習「教材研究と模擬授業」④★		<ul style="list-style-type: none"> <li>・共有化の方法</li> </ul>		

算数教育コース

\* ★印の講座を受講できるのは、正会員だけです。

No.	内容	キーワード	概要	達成目標
1	初級 算数授業UD概論 I	<ul style="list-style-type: none"> <li>算数授業のUD化モデル</li> <li>焦点化、視覚化、共有化</li> <li>教材のしかけ</li> </ul>	算数授業をワークショップ形式で体験することで、算数授業のUD化のポイントについての具体的な理解を図ります。	算数授業UDの概要を理解し、焦点化・視覚化・共有化などの指導のポイントを説明できる。
2	初級 算数授業UD概論 II	<ul style="list-style-type: none"> <li>つまずきの想定</li> <li>つまずきを想定した教材へのしかけ</li> <li>つまずきを想定したスモールステップ化・動作化</li> </ul>	仮想事例をもとにして、子どものつまずきを想定した上で、算数授業をUD化する方法について解説します。	子どものつまずきを想定して、教材へのしかけを選択したり、スモールステップ化・動作化を図ったりしながら算数授業をUD化する授業計画を立てることができる。
3	初級 数の指導（低・中学年）	<ul style="list-style-type: none"> <li>数詞</li> <li>1対1対応</li> <li>十進位取り記数法</li> <li>整数</li> <li>小数</li> <li>分数</li> </ul>	数を数えることの意味や価値を説明します。また、整数、小数、分数の意味や性質を理解する算数的活動について説明します。	
4	初級 形の指導（低・中学年）	<ul style="list-style-type: none"> <li>構成要素</li> <li>図形感覚</li> <li>作図</li> <li>立体</li> <li>垂直</li> <li>平行</li> <li>算数的活動</li> </ul>	子どもに形を認識させる算数的活動と、形を捉えるための観点などについて説明します。	
5	中級 数と計算の指導★	<ul style="list-style-type: none"> <li>四則計算の意味</li> <li>計算の仕方</li> <li>計算の習熟</li> <li>計算の活用</li> <li>比例数直線</li> </ul>	四則計算の意味や計算の仕方、計算の活用から習熟までの指導について具体的実践例を通して説明します。	
6	中級 図形の指導★	<ul style="list-style-type: none"> <li>構成要素</li> <li>図形感覚</li> <li>作図</li> <li>合同対称</li> <li>論理的思考</li> </ul>	図形をとらえる構成要素についての考察や図形感覚を育てる算数的活動、作図などを通した論理的思考について説明します。	
7	中級 量と測定の指導★	<ul style="list-style-type: none"> <li>長さ</li> <li>面積</li> <li>体積</li> <li>角の大きさ</li> <li>単位</li> <li>比較</li> </ul>	長さや面積、体積といった概念を理解するための算数的活動について説明します。また、直接比較や間接比較、任意単位による比較など、基本的な量の比較方法について説明します。	
8	中級 数量関係の指導★	<ul style="list-style-type: none"> <li>式の役割</li> <li>相互関係</li> <li>割合</li> <li>グラフ</li> <li>公式</li> <li>式の読み</li> </ul>	数量の関係を簡潔明瞭に表すことや思考過程を表わすことなど、式の役割について考察します。また割合の内容など、数量関係の指導の課題について説明します。	

9	上級 演習（教材研究の指導案作成）★	2 日 コ ー ス  4 コ マ マ 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導案作成の方法</li> <li>・教材研究の仕方</li> <li>・授業の見方</li> <li>・良い授業とは何か</li> </ul>	基本的な指導案についての考え方や書き方、教材研究の仕方について説明します。また、授業を見るときに幾つかのポイントをみなさんと考えます。	
10	上級 演習（教材研究と模擬授業）★		<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の指導計画</li> <li>・授業構成</li> <li>・問題解決学習とは何か</li> <li>・問題提示の仕方</li> </ul>	単元の指導計画についての考え方や授業構成についての考え方などを説明します。それを踏まえて問題提示の仕方についてみなさんと考えます。	
11	上級 演習（教材研究と模擬授業）★		<ul style="list-style-type: none"> <li>・発問</li> <li>・板書</li> <li>・ノートの取らせ方と生かし方</li> <li>・発表のさせ方</li> </ul>	授業を展開するための発問や板書について説明します。また、具体的な場面を想定して、どのように発表させるかについてみなさんと考えます。	
12	上級 演習（教材研究と模擬授業）★		<ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬授業</li> <li>・子どもの思考を生かした授業展開</li> <li>・まとめの仕方</li> <li>・発展のさせ方</li> </ul>	発表をさせた後の多様な考えの生かし方について説明します。具体的な場面を想定して、どのようにまとめや発展まで展開するかをみなさんと考えます。	

社会教育コース

\*★印の講座を受講できるのは、正会員だけです。

No.	内容	キーワード（5つ程度）	概要	達成目標
1	初級：社会科授業UD 概論Ⅰ		社会科授業のUD化のねらい（社会的見方・考え方の獲得）やポイント（焦点化・視覚化・共有化など）について解説します。	
2	初級：社会科授業UD 概論Ⅱ		ワークショップ形式で、社会科授業をUD化する具体的な方法と評価について解説します。	
3	初級：課題設定場面のUD		すべての子どもが主体的に学習課題を設定する学習について、典型的な教材を用い、教材提示や発問などのポイントを解説します。	
4	初級：課題追求、課題達成場面のUD		すべての楽しみながら学習課題を追究し解決する学習について、典型的な教材を用い、その指導のポイントを解説します。	
5	中級：地域社会の学習★		中学年の地域社会の学習をワークショップ形式で体験する中で、教材開発や発問づくりの基本と応用を確認します。	
6	中級：産業・国土の学習★		5年の産業・国土の学習をワークショップ形式で体験する中で、教材開発や発問づくりの基本と応用を確認します。	
7	中級：歴史の学習★		6年の歴史の学習をワークショップ形式で体験する中で、教材開発や発問づくりの基本と応用を確認します。	
8	中級：政治・国際社会の学習★		6年の政治・国際学習をワークショップ形式で体験する中で、教材開発や発問づくりの基本と応用を確認します。	
9	上級：演習「教材研究と模擬授業」①★	2 日 コ ー ス  4 コ マ 分	実際に教材研究する中で、教材研究の進め方やポイントを確認します。	
10	上級：演習「教材研究と模擬授業」②★		授業UDを目指すための社会科学習指導案づくりの作成方法について確認します。	
11	上級：演習「教材研究と模擬授業」③★		模擬授業をする中で、実際の授業におけるポイント（子どもの反応への対応、教材提示のタイミングなど）について確認します。	
12	上級：演習「教材研究と模擬授業」④★			

道徳教育コース

\*★印の講座を受講できるのは、正会員だけです。

No.	内容	キーワード（5つ程度）	概要（敬体で紹介する）	達成目標	
1	初級：道徳授業UD 概論Ⅰ	授業のUD化モデル、3段階の指導、授業のねらい、焦点化・視覚化・共有化・身体表現化	道徳授業のUD化における4つの要件（焦点化・視覚化・共有化・身体表現化）を中心に、具体的な指導方法について解説します。	道徳授業UDの概要を理解し、焦点化・視覚化・共有化・身体表現化などの指導のポイントを説明できる。	
2	初級：道徳授業UD 概論Ⅱ	つまずきの想定と支援、主体的な学習、教材へのしかけ、発問、評価	子どものつまずきを想定した上で、道徳授業をワークショップ形式で体験することで、道徳授業をUD化する具体的な方法と評価について解説します。	子どものつまずきを想定して、道徳授業UDに関する学習過程を作成することができる。	
3	初級：発問①（総論）	ねらい、学習内容、類別・対比、問い返し、自己評価観点	発問の機能や種類について、教材や子どもの特徴を踏まえ、全員の子どもが意欲的に考えるポイントを解説します。	発問の機能や種類について、ねらいや学習内容、教材の特徴に応じて説明できる。	
4	初級：発問②（各論）	価値理解・自己評価が苦手な子への配慮、日常化への橋渡し	特徴的な発問のいくつかについて、その仕組み方や効果の違い、配慮のポイントについて解説します。	焦点化、視覚化、共有化、身体表現化などを踏まえて、特徴的な発問のポイントについて説明できる。	
5	中級：教材研究（分析、解釈、しかけ、開発）★	教材分析、教材解釈、教材へのしかけ、教材開発、学習過程の仕組み方	教材の分析、解釈の仕方、全員の子どもが考えたい教材へのしかけや教材開発のポイントについて解説します。	教材分析や解釈の仕方、及び教材へのしかけ、開発のポイントについて説明できる。	
6	中級：多様な指導①（問題解決的な学習）★	主体的な学習、問題解決的な学習、自らの成長の実感、これからの課題や目標の設定	問題解決的な学習の仕組み方を紹介する中で、全員の子どもが主体的に道徳性を養うためのポイントについて解説します。	主体的で、問題解決的な学習の仕組み方について説明できる。	
7	中級：多様な指導②（体験的な学習）★	道徳的行為に関する体験的な学習の取り入れ、特別活動等における多様な実践活動・体験活動の生かし方	全員の子どもが楽しみながら学ぶことができる「道徳的行為に関する体験的な学習」や「多様な実践活動の生かし方」について解説します。	道徳的行為に関する体験的な学習の取り入れ方や多様な実践活動の生かし方について説明できる。	
8	中級：評価（ねらいと学習内容、評価）★	授業のねらい、学習内容、学習方法、自己評価、評価	「全員の子どもが楽しく考え、わかる」授業における評価（子どもの自己評価と教師による評価）について解説します。	授業のねらい、学習内容を踏まえた子どもの自己評価及び教師による評価の具体的なポイントについて説明できる。	
9	上級：演習「教材研究と模擬授業」①★	2 日 コ ー ス  4 コ マ 分	教材研究の方法、学習内容、学習方法、授業展開、教材のしかけづくり	実際に教材研究する中で、教材研究の進め方やポイントを確認します。	教材研究の進め方のポイントを理解した上で、自分自身で教材研究ができる。
10	上級：演習「教材研究と模擬授業」②★		道徳科学習指導案の書き方（指導の工夫、個別の配慮、特化した配慮）	授業UDを目指すための道徳科学習指導案づくりの作成方法について確認します。	授業UDを目指すための道徳科学習指導案を作成できる。
11	上級：演習「教材研究と模擬授業」③★		教材提示のタイミング、子どもの反応への対応、リズムとテンポ、共有化の方法	模擬授業をする中で、実際の授業におけるポイント（子どもの反応への対応、教材提示のタイミングなど）について確認します。	実際の授業におけるポイントを意識しながら、模擬授業ができる。
12	上級：演習「教材研究と模擬授業」④★				

【共通コース】特別支援教育コース

No.	内容	キーワード	概要	達成目標
1	通常の学級における特別支援教育概論Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育の基本的な考え方</li> <li>特別支援教育の制度</li> <li>校内委員会</li> <li>特別支援教育コーディネーター</li> <li>個別の指導計画、個別の教育支援計画 など</li> </ul>	我が国の障害等のある子どもの教育の基本的な考え方や仕組み、通常の学級における特別支援教育の在り方などについて概説します。	特別支援教育の意義や仕組み等について説明できる。
2	通常の学級における特別支援教育概論Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者権利条約</li> <li>学校教育に関連する法令改正</li> <li>基礎的環境整備と合理的配慮</li> <li>インクルーシブ教育システムと授業のユニバーサルデザイン など</li> </ul>	わが国における、近年の障害等のある子どもの教育を巡る状況や諸課題に応じた動向について説明します。	特別支援教育の現状や課題、授業のユニバーサルデザインの導入までを説明できる。
3	発達障害概論	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達障害に関する基礎知識 (LD、ADHD、ASDほか)</li> <li>二次的障害 など</li> </ul>	発達障害に関する基礎的な理解と、障害の特性に応じた支援について説明します。	発達障害についての理解、具体的な障害特性とそれに対応した支援について説明できる。
4	学力のつまずきの理解と通常の学級における指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力のつまずき</li> <li>心理アセスメント</li> <li>認知特性</li> <li>読み書き、算数・数学</li> <li>教室でできるアセスメント など</li> </ul>	学力のつまずきと実態を把握する方法、心理アセスメントを踏まえた認知特性などについて説明します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学力のつまずきの特徴について説明できる。</li> <li>②通常の学級における心理アセスメントの活用と具体的な指導について説明できる。</li> </ul>
5	言語・コミュニケーションのつまずきの理解と通常の学級における指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語・コミュニケーション発達</li> <li>音韻・意味・統語・語用</li> <li>聴覚認知</li> <li>ワーキングメモリ</li> </ul>	言語・コミュニケーションの発達やそのつまずきに関する基礎的知識、通常の学級における指導や支援の実際について説明します。	言語・コミュニケーション面のつまずきに関する指導や支援について具体的に述べることができる。
6	社会性のつまずきの理解と通常の学級における指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソーシャルスキルとは</li> <li>クラスワイドのSST</li> <li>自己理解、自己肯定感</li> <li>他者理解、他者視点取得</li> <li>気になる子の周囲へのアプローチ</li> </ul>	気になる子とその周囲へのアプローチとして、通常の学級で取り組むことができるソーシャルスキル指導の意義や目的について説明します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ソーシャルスキル指導の意義を述べることができる。</li> <li>②ソーシャルスキル指導の基本的な留意点について挙げ、具体的な指導について説明できる。</li> <li>③要支援の子に影響を及ぼす周辺児童・生徒の類型と対応について説明できる。</li> </ul>
7	行動面のつまずきの理解と通常の学級における指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境との相互理解</li> <li>行動観察と記録</li> <li>機能的アセスメント</li> <li>A B C分析</li> <li>アンガーマネージメント など</li> </ul>	行動上のつまずき（たとえば多動、衝動性、パニック、怒りや暴言、友人関係のとりにくさ等）について概説し、通常の学級における指導、支援について説明します。	行動上のつまずきの具体像とその背景要因について理解し、具体的な対応について説明できる。
8	感覚・運動のつまずきの理解と通常の学級における指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>視機能（注視、眼球運動）</li> <li>姿勢</li> <li>ボディイメージ</li> <li>感覚過敏と感覚鈍麻</li> </ul>	感覚・運動面（たとえば姿勢の崩れやすさ、感覚の過敏さなど）のつまずきとその要因について理解し、通常の学級での指導・支援について説明します。	感覚機能のしくみとそのつまずきの要因を理解し、具体的な対応について説明することができる。

【共通コース】学級経営コース

No.	内容	キーワード	概要	達成目標
1	学級集団づくりの理論と方法①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理想の学級</li> <li>・学級の成長段階</li> <li>・学級経営の戦略</li> <li>・目的論</li> </ul>	望ましい学級集団の姿とはどのような姿なのか、その学級集団を育てるにはどのような道筋を通るのか。望ましい学級集団を育てるためには、どのような戦略をもてばいいのか、学級経営に必要な基礎的な知識と指導方法について講義と演習で学びます。	学級経営の基礎的事項を理解し、それについて説明することができる。
2	学級集団づくりの理論と方法②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全基地</li> <li>・教師と子ども的人际关系</li> <li>・子ども同士的人际关系</li> <li>・課題解決集団</li> </ul>	子どもと人間関係をどのように築けばいいのか、また、子ども同士的人际关系をどのように育てればいいのか、学級内における望ましい人际关系の形成を促すための考え方と方法について講義と演習で学びます。	学級経営における人間関係づくりに必要な事柄について理解し、それについて説明することができる。
3	学習環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級経営</li> <li>・学習環境</li> <li>・時間の構造化</li> <li>・場の構造化</li> <li>・刺激量の調整</li> </ul>	子どもたちが安心して授業に参加できる学習環境づくりの方法について説明します。学級経営上、気になる子について理解した上で、「参加」レベルを達成する方法について具体的に紹介します。	学習環境整備の内容や方法について理解し、それについて説明することができる。
4	保護者対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級経営</li> <li>・学校経営</li> <li>・保護者対応</li> </ul>	学級経営上、保護者の理解・協力が不可欠です。望ましい保護者対応について考えます。	学級経営や学校運営にかかわる保護者対応の在り方について理解し、それについて説明することができる。